

(91)大和平野中央田園都市構想の推進

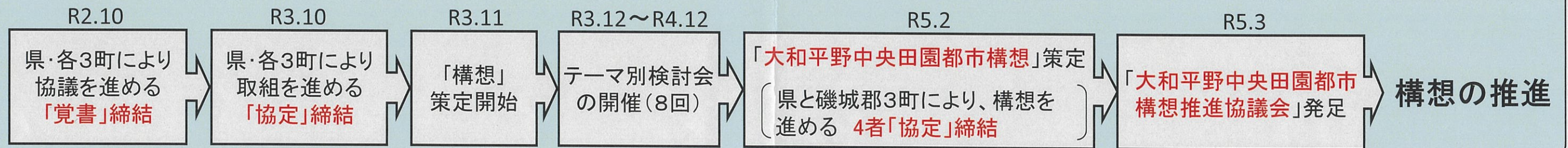
1. 官民連携による大和平野中央田園都市構想の推進 (R4・2月補正予算案 89,860千円)

- ・整備が進んでいる京奈和自動車道により、西名阪自動車道、南阪奈道路、中和幹線などの主要道路との接続性がアップするとともに、近鉄線(橿原線、田原本線)が縦断するなど、利便性が飛躍的に向上し、高いポテンシャルを有する地域。
- ・一方で、広範な農地が広がり一団の土地が確保でき、農地と調和した新たなまちづくりを展開することが出来る地域。

若者や女性の働く場の創出、県内産業力の強化、県民の健康増進、暮らしやすさの向上等を目指す「大和平野中央田園都市構想」を県勢発展戦略の柱の一つと位置づけ、磯城郡3町と協働して各般の取組を先行的に行い、県域全体への展開を目指す。

「県立工科大学(仮称)とスタートアップヴィレッジ」や、2つの「ウェルネスタウン」をテーマとする拠点づくりを核として、
 ①知的な大和平野 ②健康長寿の大和平野
 ③大和平野中央のデジタル田園都市建設 ④地元や民間の人たちと力を合わせた未来に輝く大和平野 を目指す。

<経緯>



(1) 県と磯城郡3町による協議会を設置

R5.2に構想を取りまとめ、構想の実行段階となるにあたり、県と磯城郡3町で負担金を拠出する協議会を設立。

- 【構成員】 奈良県知事(会長)、川西町長、三宅町長、田原本町長
 【負担金】 奈良県 88,000千円 (※その他旅費等 1,860千円)
 磯城郡3町 9,000千円【各町3,000千円】
 協議会計 97,000千円

①協議会が実施する構想のテーマに基づく先進的な取組 (R5:89,000千円)

- ・AIや防犯カメラを活用した、子どもや高齢者の見守りシステムの構築
- ・センサーから発信されるデータを活用した独居高齢者の健康支援・見守りシステムの構築
- ・先進的農業の研究や、作業の自動化により、農業の省力化、効率化、高度化を図り、生産性を向上 等



②民間事業者、有識者、国が参画するコンソーシアム形式のフォーラム開催等による構想推進 (R5:8,000千円)

大和平野中央田園都市構想推進体制 (コンソーシアム形式)

